

令和5年度第1回白井市文化会館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和5年8月2日（水） 午後3時00分から午後5時00分まで
2. 開催場所 文化センター2階 かおりホール
3. 出席者 委員 佐藤会長、吉井副会長、長野委員、中山委員、坂巻委員、野口委員
4. 欠席者 今井委員、堀江委員、白岩委員、佐藤（眞）委員
5. 事務局 高花センター長、渡邊主任主事、正木主事、芳賀係長
6. 傍聴者 3人
7. 議題 (1) 令和4年度事業報告について
(2) 令和5年度自主事業計画（案）について
(3) 文化会館の運営方法について
(4) 文化会館の自主事業の運営について
8. その他
白井市文化センターのあり方に関する方針

《会議概要》

議題（1） 令和4年度事業報告について

（事務局説明）

- ①文化会館自主事業運営事業について、資料1-2と資料3の総支出額は、同額ではないのか。（会長）
→チケットホルダーに不足が生じて購入した分が差額となっている。（事務局）
→会館を運営するのに総支出2600万円あり、会館使用料の歳入として1600万円の差額で税金を投入して文化会館を運営しているという考え方でいいか。（会長）
→そのとおりである。（事務局）
- ②資料1-1の番号9ピアノの定期調律を、委託と手数料で支出を分けている理由は何か。なお、舞台管理業務委託が長期継続契約でありながら、なぜマイナスが出るのか。（委員）
→ピアノの調律は、調律のみ、保守点検はピアノを分解して清掃したり弦を張り直すなど、メンテナンスをするもの。また、舞台管理業務委託については、単価契約のため1回あたりの料金とスタッフを派遣する過去の実績から想定した見込み日数を予算として計上している。昨年度計上した見込みよりも、日数が上回ったことにより、不足額が生じたが、委託費全体としてはマイナスとなっていない。（事務局）

議題（2） 令和5年度自主事業計画（案）について

（事務局説明）

- ①千葉交響楽団については、県の補助金を利用して行うものでよいか。（会長）
→そのとおりである。（事務局）
- ②今年度自主事業は2回か。（会長）
→そのとおりである。（事務局）
- ③千葉交響楽団の公演手数料は、いくらか。（会長）
→309万円である。（事務局）

- ④令和5年度の公演手数料は364万円で、令和4年度は170万程度だが理由はあるのか。(委員)
→令和3年度は、三遊亭円楽氏による公演を行うため、予算が例年より多く計上されていたが、令和5年度は、県の補助金により公演料の1/2は市の歳入として頂くことになるが、公演料の支払いについては、一度全額支払いを行うため、例年より予算が増額している。(事務局)
→309万円は、市の負担する分も含めてか。(会長)
→そのとおりである。県の補助金分と市の負担する分を含めた金額である。(事務局)
- ⑤公演手数料364万から310万円を引くと50万円くらい残るので、去年の伊藤順一氏位の規模の演目ができそうだが、どうだろうか。(委員)
→指揮者代と諸経費が入って364万円となるので、公演手数料を支払うものは令和5年度は千葉県民芸術劇場のみとなる。

議題(3) 文化会館の運営方法について

(事務局説明)

- ①資料5の回答は、誰が誰に回答したものか。(委員)
→国の調査に対して、千葉県、市生涯学習課を通じ文化会館が回答したものとなる。(事務局)
- ②あり方で、運営まで言及がされていないという事であれば、資料5の2の(2)の回答は有効なのか。(委員)
→あくまでも、アンケートに答えたという事である。今後、大規模改修に合わせて運営方法も検討して行くものと捉えている。(事務局)
- ③提言を待つのではなくて、運営協議会などで検討しながら答えを出すという事でよいか。(委員)
→现阶段では、市として基本計画や実施設計などを検討していく中で、運営方法についても検討し運営協議会でもご意見を頂きながら結論を出すということになると考えている。(事務局)
- ④興行団体の利用が少ない(自主含む)というのは、キャパの問題なのか。座席数が少ないから興行ができないと聞いたことがある。または、営業努力等により改善は可能なのか。(委員)
→自主事業については、予算が減額となってきた経緯がある。興業団体の利用については、キャパシティの範囲内に限定される。ピアノ等の規模であれば、本市でも可能である。しかし、立地条件等も絡むので一概に座席を増やしたからといって、来館者が増加するとは断言できない。(事務局)
- ⑤立地条件としては、難しいものがあるが、800席のホールとしては最高峰といえる部分がある。プロからもそのような評価を受けていることから、PRしていきたいと考えている。直営から指定管理に代わる場合は、料金が変わることや使い勝手が変わるなど何が変わるのか。(会長)
→文化会館の指定管理については、調査研究の段階なので言及は差し控えさせていただく。(事務局)
- ⑥指定管理の選定委員もさせていただいている。指定管理料は、議会が絡むから指定管理者になってもすぐに変えられるものではない。民間のノウハウが入ってくるので良い面が多くなってくるが、市が直営でやった場合このようなメリットがあるというような資料を提示してもらわないとなかなか議論にはならないと捉えている。(委員)
→次回以降、資料を準備させていただく。(事務局)

議題(4) 文化会館の自主事業の運営について

(事務局説明)

- ①資料7の1の回答概要にある館所有のピアノの開放とはどのようなことなのか。(委員)
→その館にあるピアノを市民に弾いてもらうというもの。かつて当館でも、ピアノを弾いてみませんかと

いう事で、一般の方に開放していた経緯はある。今後も、行っていくことは可能であると捉えている。

②一日開放したのか、時間で区切って開放したのか。(委員)

→当館の事業では時間で区切っていた。(事務局)

③行先不透明であれば、クラシックでよいのではないかと考えている。演劇などは最初から動員数を多くするのは難しい。PRなどを重ねて浸透して来館してもらえるようになる。ミュージカルや能などは、今の予算では難しい。そうなると、クラシックの中で何をしてもらおうのか考えてもらった方がいい。(委員)

④古典芸能派であるが、自主事業にスポンサーをつけることは可能か。(委員)

→いくつかハードルがあると考えられるので、調査研究させていただく。(事務局)

⑤古典芸能で、白井の親子歌舞伎を説明付きのものを見たことがある。(委員)

→御意見をふまえ様々なジャンルで検討して、市民の皆様が納得する事業を考えていきたい。(事務局)

⑥他の会館では、夏井いつきさんの句会ライブは、人気があった。それから、小中学生向けで、バックステージツアーなどが人気があったと聞いている。(委員)

⑦薪能を行った記憶がある。(会長)

→薪能は中庭で行った経緯がある。先ほどの歌舞伎は、記憶になるが文化庁の事業として行った経緯がある。(事務局)

その他

(事務局説明)

●白井市文化センターのあり方に関する方針

①市の方針が決まったという理解でいいか。(会長)

→市の行政経営戦略会議で教育委員会の方針が了承された段階で、今後どう進めていくかを内部協議しているところである。運営協議会で報告できる段階になったら報告して協議させていただく。(事務局)

②より良い意見を出すことで、ポジティブに運営されていくように考えている。(会長)

③文化センターの役割を理解している。文化センターを活用していきたい。(委員)

●宝くじ文化公演について (事務局説明)

会議閉会